



第72号
平成25年12月21日
西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区
分区長 生田 収

本号から「ぬくもり」紙面を全面リニューアルしました！



■友と共に、「少しでも覗いてみましょうか」と入りました。会場の素敵な雰囲気と皆様の素敵な笑顔に魅了され、その場

で加入をさせて頂き、今日に至ります。「出逢いで人生が広がる」。お昼下りのひと時を、ご一緒にお茶などいかがですか！(市ノ川)

■ふれあい喫茶のお手伝いをして五年になります。このようなボランティア活動は、初めての経験です。今までお話をしたこともなかった人達と出会い、これが人間関係の大事な糸口であることがよく解りました。続けて頑張ります。(荻野)

■ボランティアを続けて、たくさんの方と出会えました。ふれあい

文化祭に参加して ふれあい喫茶スタッフの一言

■十一月四日の文化祭ふれあい喫茶に百八十名の皆様にお越しいただきありがとうございました。引き続き、ふれあい喫茶のメンバードイツも仲良く楽しく。このボランティアをしなければ出会えていない方々。続けられて本当に良かったと思います。ぜひ月一回第二水曜日のふれあい喫茶へ！お待ちしております。(棚原)

■十一月四日の文化祭ふれあい喫茶当日は祭りで、初めての方や沢山の子供さんたちの来場があり、いつもと違った雰囲気の中で皆で精一杯活動しました。オリンピック誘致の口述でおもてなしの言葉が話題になりましたが、心を込めての気持ちで、ふれあい喫茶の意義でもありと感じています。(松尾)

■和気あいあいとした雰囲気の中で人との交流を心から楽しみ、語らい、有意義なひと時を共有させて頂いております。無理なく続けることで、人との出会いを大切にしながら、地域とのつながりをより深めていきたいと思っております。(松坂)



三団体連携の防災訓練
十一月九日、西宮市総合福祉センターにおいて、特殊な防災訓練が実施され、北六甲台から五名のボランティアが参加しました。西宮市社会福祉協議会、西宮市国際交流協会、日本災害救援ボランティアネットワークの3団体主催の「災害弱者をつくらないための地域防災連携訓練」です。

地震が発生し、西宮市は震度七、水道・ガス・電気といったライフラインは、ほぼ停止状態という想定をもとにした訓練です。災害ボランティアセンターの立上げ訓練、避難所運営支援訓練、多言語支援センター立上げと運営訓練といった多面的な訓練も同時に実施され、相互の連携訓練という側面もありました。

参加した五人は、避難所運営に二名、災害ボランティアセンター運営に一名、障がい者支援ボランティアに二名と役割分担しました。

避難所生活を体験
別館会議室の「避難所」に集合し、ブルーシートにマットを敷き、プライバシー確保のためにダン

ボールを組み立てました。ところが出来上がってみれば、車イス利用者用の場所にはダンボールはなく、災害時には弱者が十分に保護されないという現実を思い知らされました。その後、ダンボールが分配され、私たち五名も、それぞれのダンボールの中に入って、チョッピリ避難者気分を味わいました。

冬にもかかわらず、室内会場は熱気ムンムンで、どの湯きを訴える人が

相次ぎ、しばし休憩し水分補給をしました。



帰路車中の反省会
帰りの車中では、それぞれの体験談を話し合

外国人も参加
国際交流協会から三十六名の外国人が参加されていました。中国、韓国、タイ、アメリカ、ドイツ、ペルー、ミャンマーの各国の皆さんです。それぞれに言葉の通じない避難所生活の大変さを実感されているような様子が窺えました。

体験を生かす日が来ないように！
北六甲台に到着したのは、日も暮れた午後五時半頃でした。解散後、それぞれ自宅へと急ぎながら五名の心の中は同じ「決して今回の体験を生かさないといけない」という思いだったのではないのでしょうか。

ちなみに今回の参加者は、横井、松山、辻田、深川の皆さんと古南でした。

災害弱者をつくらないための 地域防災連携訓練の体験記

ボランティアセンター 古南圭子



いろいろな事を見聞したり、体験したりしながら、何とか訓練を終えました。

は、「大変な一日だったけれど、貴重な訓練に参加できて良かった」という思いではなかったかと思ひます。北六甲台には食料は確保されているのだから。マットやダンボール、水、薬などはどうなっているのだろうかなどと話は尽きません。

また。共通していたのは、「大変な一日だったけれど、貴重な訓練に参加できて良かった」という思いではなかったかと思ひます。北六甲台には食料は確保されているのだから。マットやダンボール、水、薬などはどうなっているのだろうかなどと話は尽きません。

安心キット導入の取組み

北六甲台

高齢者の46%が申込み！

北六甲台では、10月末で一旦申込みを締切り、丁目別申込み状況は以下の通りでした。

高齢者の46%という順調な申込みを頂きました。現在申込まれたお宅にお届けしています。



	個人	世帯
1丁目	141	89
2丁目	98	63
3丁目	77	53
4丁目	116	74
5丁目	145	96
計	577	375

上山口東

安心キット導入に着手

上山口東では、今月14日にご利用案内と申込書を掲載した「ぬくもり特別号」が全戸配布されました。12月中にふれあい喫茶や秋桜会の会合などを通じて個別のご利用をご案内します。

十一月十七日、北六甲台小学校グラウンドにおいて、社協と自治会が共催する恒例の三世代交流グラウンドゴルフ大会が行われました。私も孫と一緒に参加させて頂きました。

孫と一緒に参加しました

三世代交流グラウンドゴルフ大会

三丁目 井上武夫

当日は薄曇りの天候ながら、三世代の老若男女合わせて五十名の参加者があり、生田社協分区長のご挨拶の後、八組が同時スタートするショットガン方式でゲームが開始されました。



順位は、ハホールの合計スコアで決まり、あら

はじめ入賞順位が決められ豪華賞品が用意されていたので、張り切ってプレイしましたが、結果は賞品のある順位に縁遠く、名譽ある参加賞を頂いて帰りました。

結果はともあれ、普段は孫と一緒に同じ遊びをする機会がないのですが、今回の三世代交流グラウンドゴルフ大会に参加したことで、思い出になる時間を過ごせたことを喜んでおります。お世話を頂いた皆さん、ありがとうございました。来年も機会があればまた参加したいと思っております。

グラウンドゴルフは、パターゴルフの要領で、誰でも楽しめる楽しいスポーツです。



歳末助け合い募金

ご協力ありがとうございました

48,287円
の募金を頂きました



ポーツです。今回参加できなかった皆さんも、来年はぜひ参加して地域行事を盛り上げていきましょ

北六甲台小学校福祉体験学習のお手伝い

体育館での車椅子体験

高齢者福祉部 永田 辰雄

十月二十五日、北六甲台小学校で車椅子体験学習のお手伝いをしました。あいにく台風二十七号と二十八号の接近で、朝から雨が降り、車椅子学習は、小学校の体育館内で行われました。



九時頃に四年生の子供たちが集合し、社会福祉協議会の方から体験学習についての指導を受けました。その後、子どもたちは二人一組で乗る人と押す人に別れ、二カ所からコースをスタートし、体育館内を回りました。



十数名のボランティアが、所要所で声を掛け、事故のないように見守りました。子ども達は、マットの上に車椅子を押し上げ、その後、後ろ向きに降りるため、車椅子を回転させるのが難しかったようですが、一生懸命に頑張っている様子に感心しました。

今回は、雨のため体育館内の体験で坂道や階段や砂利道の体験ができなかったのですが、私は少し物足りない気がして残念でした。次回は雨の降らないよう祈っています。

第二回福祉講座

ボッチャを体験してみたら...

研修部 福井美也子

高田さん



中西さん

パラリンピックの正式種目でもある「ボッチャ」を皆さんご存知でしょうか。

市社協総合福祉事業部の中西さん、地区担当の高田さんにご指導を頂き、十二月十日、自治会館で約二十五名がボッチャを体験しました。

このスポーツは、カーリングとボーリングを合わせたような競技で、障害者、健常者が一緒に楽しむことができます。年齢、人数、会場に応じてプレーを楽しめます。ルールも簡単です。赤と青のチームに分かれ、白い目標球



に向けてボールを投げ、より近くに投げられた方が勝ちです。ボールはソフトボールより少し小さく、柔らかい皮でできています。中に砂が入っているため、コロコロ転がったり、ストンと落ちて止まったりと、投げ方にコツが要ります。慣れてくると、相手チームの球をはじき出して自分のチームの球を有利にするといった作戦も生まれてきます。ところが思うようにいか



ぜんざいで懇親

ず、つい声が出たり、拍手が起こったり...。肩慣らしの後、三人ずつ八チームに分かれてトーナメントを行い、大いに盛り上がりました。試合の後は、研修部で準備した温かい白玉入りぜんざいで、心も体もホッとして、楽しく解散となりました。皆様もチャンスがあれば、ぜひボッチャにチャレンジしてみてください。